



①使用後のお手入れ

錠剤を粉碎し終わったあとは、必ずお手入れをしてください。
(お手入れしないと残薬などが本機内部に残り異物混入の恐れがあります)

- ◆受皿カップ ◆ミキサー部 ◆本体
- 柔らかい布に水を含ませて、表面の汚れを拭き取ります。
拭いたあとは、乾いた柔らかい布で乾拭きして十分に水分を取ってください。
- ◆受皿カップ
水洗いすることも可能です。

②ミキサー部のお手入れ

注意点

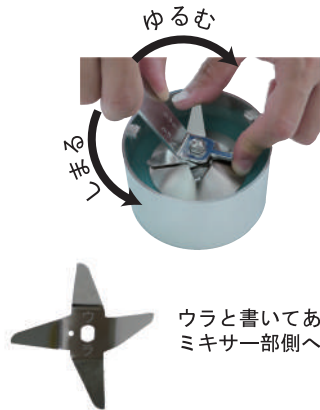
1. 水洗い不可(丸洗い不可) 2. ゴムギヤ取り外し不可

替刃・テフロンワッシャーを 取り外す / 取り付ける

- ①付属の変形レンチを使う。
- ②片手で刃を押さえながら、変形レンチを使いナットを外します。
- ③替刃を外します。
- ④テフロンワッシャーを外します。
- ⑤替刃は、水洗い可能です。

一般的なネジと違いナットは逆ネジです。

右回転(時計回り)ゆるむ
左回転(反時計回り)しめる
替刃には、表と裏があります



ウレタンマットを取り外す / 取り付ける

- ①替刃を外した状態で作業を行う。
- ②右写真のように、ミキサー部を逆さまにしウレタンマットが見える穴へ細い棒を差し込み押し出し取り外します。
- ③ウレタンマットは水洗い・消毒用エタノール洗い可能ですが、十分に乾燥させてからご使用下さい。
- ④マットを取り付ける時は、ミキサー部の溝に合わせ少しずつ押し込んでください。一度に押し込むと、溝に入りにくい場合があります。



ベアリング軸を取り外す / 取り付ける

- ①替刃を外した状態で作業を行う。
- ②付属の変形レンチを使う。
- ③ゴムギヤとベアリングの隙間に変形レンチを差し込みベアリング軸を取り外します。

一般的なネジと同じです。

右回転(時計回り)しめる
左回転(反時計回り)ゆるむ

ゴムギヤ取り外し不可



- ④変形レンチを使い、軸がゆるんだらベアリングキャップを手で持ってさらにゆるませベアリング軸を取り外します。

水洗い不可



- ⑤取り外したベアリング軸は、乾いた布などでふき取ってください。

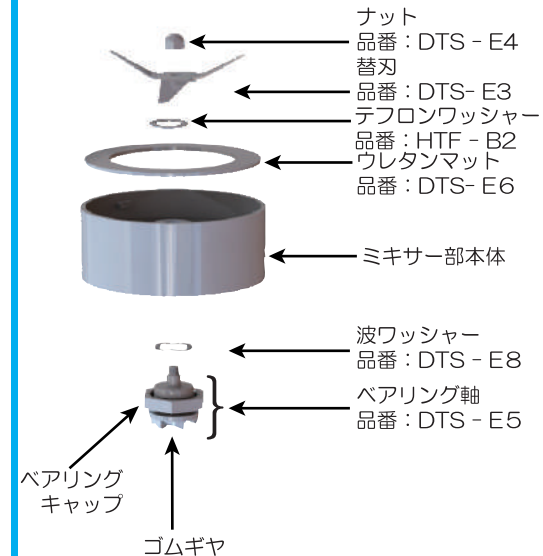


ポイント



細い軸の部分に変形レンチが入りやすいので注意
この部分にレンチを差し込む。

ミキサー部構成部品



かんたんスタートガイド(使用編)

①受皿カップに錠剤を入れる

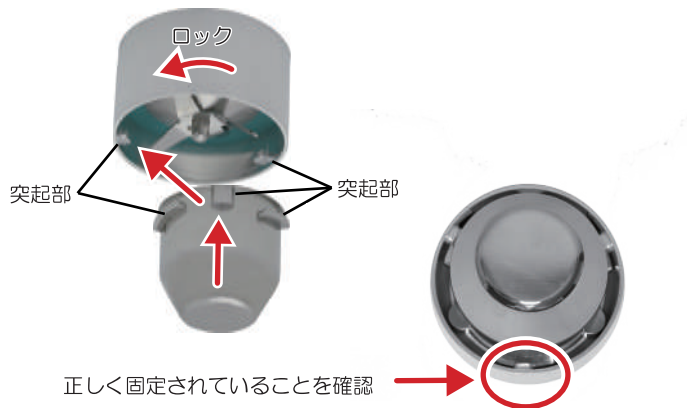


粉碎最大量の目安：受皿カップの傾斜部の2/3。

直径10mm厚み6mmの錠剤で100錠
直径8mm厚み4.6mmの錠剤で150錠

②受皿カップにミキサー部を取り付ける

受皿カップにある突起部をミキサー部の突起部を避けてから、合わせ、ミキサー部を時計回りにロックするまで回して取り付けてください。



正しく固定されていることを確認

③本体にミキサー部を取り付ける

正常に取り付けると作動確認ランプがブルー点灯します。作動確認ランプがレッド色点滅の場合は受皿カップの取り付けが不十分です。作動確認ランプがブルー点灯するまで受皿カップをまわしてください。



④スイッチを押す



作動確認ランプ	状態
消灯	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けた状態 ミキサー部が取付けていない状態 モーターに過剰な負荷が掛かった状態再起動してください
ブルー点灯	<ul style="list-style-type: none"> 粉碎スタンバイ状態 粉碎が終了状態
グリーン点灯	<ul style="list-style-type: none"> 5フラッシュで粉碎中
パープル点灯	<ul style="list-style-type: none"> 連続で粉碎中
レッド点滅	<ul style="list-style-type: none"> 受皿カップが正しく固定されていない状態

⑤本体からミキサー部を取り外す



⑥受皿カップから粉碎物を取り出す

消耗品・追加購入品

商品名	受皿カップ	ミキサー部	替刃	ナット (2ヶ入)	ベアリング軸
型番	DTS-D1	DTS-D2	DTS-E3	DTS-E4	DTS-E5
定価 (税抜)	¥20,000	¥40,000	¥3,000	¥1,000	¥5,500
商品画像					
商品名	ウレタンマット	変形レンチ	波ワッシャー(3枚入)	テフロンワッシャー(3枚入)	ハケブラシ(2本入)
型番	DTS-E6	DTS-E7	DTS-E8	HTF-B2	HTF-B3
定価 (税抜)	¥1,500	¥1,500	¥1,000	¥850	¥1,500
商品画像					